

教育旅行誘致等についての情報共有

令和5年11月20日
宮城県復興支援・伝承課

1 教育旅行誘致関係

今年度から、コンソーシアム事務局として教育旅行の誘致に力を入れています。

日時	訪問先
令和5年7月	東京都（教育旅行セミナー）6社へPR
同上	関西方面の中学校3校、高校4校
令和5年8月	大阪市（教育旅行セミナー）6社へPR
令和5年11月	関西方面の中学校1校、高校3校
同上（予定）	札幌市（教育旅行セミナー）、苫小牧市（旅行事業者）

※中学校は全て中高一貫校
 ※高校の数には再訪問1校を含む

1 - 1 教育旅行セミナー

- 「みやぎ東日本大震災津波伝承館」として参加
- 旅行事業者向けにPRを実施
- 7月に東京都、8月に大阪市で開催されたセミナーに参加
- 東京都、大阪市とも各6社へPR
- 今後、11月に札幌市で開催されるセミナーに参加予定
- 札幌市のセミナー後、苫小牧市の旅行事業者にもPRのため訪問予定



1-2 学校訪問

- 関西方面の学校を訪問
- 7月・11月と中学校4校、高校7校（累計）を訪問
- うち、3校が宮城県を旅行先として選択
- 訪問のきっかけは、先方からの出張授業の依頼や、過去に来県した学校のフォローアップなど



1 - 2 学校訪問

主なヒアリング内容

【学校側が教育旅行で求めるもの】

- 充実した**事前学習**（質疑のやり取り、事前講義など）
- 現地での**交流**（**学校交流**など）

<宮城県に訪問して良かった点>

- コンテンツ（伝承施設等）が充実していた
- 震災遺構が印象的だった
- 事前学習にしっかり対応してもらえた

<改善点>

- 少人数（2～3人）での移動時の伝承施設へのアクセス
→公共交通機関の本数が少ない
- 震災伝承プログラムがニーズと合っていないことがあった
→参加者の年齢とプログラムが想定する年齢層に差があった

1 - 2 学校訪問

その他

- 大学のプログラム（防災・減災学習）が非常に良かったが、大学生との交流もできるとなお良い
- 学習指導要領に探究型学習が位置付けられてから、研修旅行に求められる質が変化している（「観光」→「体験」→「探究」）
- 一度行程が決まると、翌年度以降変更することはなかなか困難
- 遺構は魅力的だが、モニュメント化してしまう（震災と切り離された置物と化してしまう）と印象が薄くなってしまうので、そうならないよう工夫が必要なのではないか
- コロナ禍で従来の旅行先であった海外を国内に変更した際は、東北も旅行先の一つだったが、その落ち着きとともにまた海外へと旅行先を戻した
- 国内での人気の旅行先は、北海道（人権教育等）と沖縄県（平和教育等）
- 最近の円安の影響で、再度、旅行先の国内回帰の動きがある

1-3 お問い合わせ

伝承団体の皆様へのお願い

多くの方に来県いただき、東日本大震災について知って、考えてもらうため、今後も積極的に教育旅行セミナーへの参加や、学校訪問を行っていきます。

その際、皆様の活動内容やプログラムについても紹介させていただきたいと思っております。

については、団体紹介の資料等の作成のため、ヒアリングなどを行わせていただくことがあろうかと思いますが、ご協力のほどよろしく申し上げます。

2 LINE公式アカウント開設のお知らせ

LINE公式アカウント「いまを発信！復興みやぎ」の開設

県内の震災伝承施設・伝承団体様等の取り組み内容や、みやぎ東日本大震災津波伝承館のイベント情報、被災地域の観光情報など、幅広く震災伝承・復興に関する情報を発信していきます。

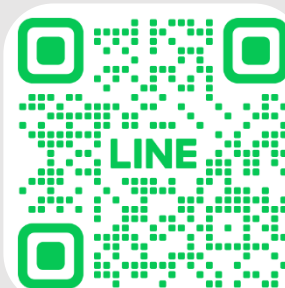
◆情報提供のご協力をお願いいたします。

今までのSNS



プル型

新たに開設



プッシュ型

お友だち登録キャンペーンとして、ラルフローレン合同会社様からご提供いただいたタオルハンカチをみやぎ東日本大震災津波伝承館にて配布予定としています。

